

まきだにダム

令和2年9月9日

池田小学校

3年

槇谷ダム

池田で1ばん北にある槇谷地区の落合川をよん止てつくられたダムです。昭和51年から13年かけ工してきました。工事代いは、二十七億四千万ものお金がかかりました。むかしは、大雨がふるとこつ水などで田や畑、どつろが流されて人びとはくるしんでいました。がダムのおかげで今ではあん心です。



豪溪・池田神社



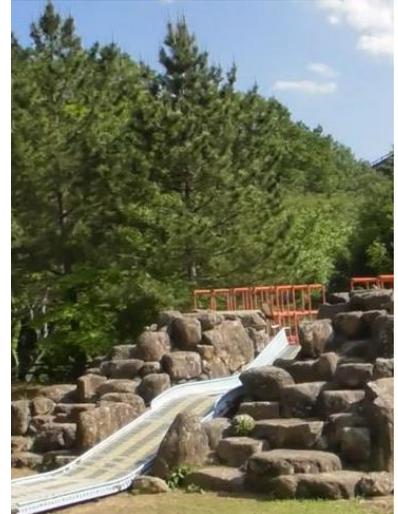
豪溪とは、夫きくて力づよく、すばらしいけしきのことです。大きく天にも届くような岩と、槇谷川のきれいな水の音が聞こえることから、大正十二年に「国指定名勝地」になりました。小学校の校歌に「槇谷川の水清く日出ずる豪溪の山河のれいきこるところ」は、この豪溪が歌にされています。

春は桜、秋にはもみじを見に遠くから多くの人びとがおとずれています。

池田神社
がけの上にてたてられている。むかしむし、戦国時代には、「どりで」で、さむらいがいたところ。その後、江戸時代には「こんぴら神社」がまつられていましたが、やく百年前に、池田地区の九つの神社がひとつにまとめられて、新しく「池田神社」がたん生しました。農業のかみさまですが、お参りする人はなうんこうや受



井風呂谷川砂防公園



見延村では、山の木をたくさん切つて売りに出したため、い風呂谷川のまわりで山くずれがおこりました。大雨の時には、田や畑が流されるさい害が発生しました。そのため、今から約百三十五年前に、岡山県が全国で初めて砂防工事をするようにと命令を出しました。この工事によってさい害がなくなりました。

今では、国の有形文化財に指定され公園となりました。公園には、砂防発しようの地」とかかれた大きな石が置かれています。